

第四次次世代育成支援行動計画 数値目標達成状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
数値目標1	令和4年度までに、「配偶者分娩休暇」又は「男性の育児参加休暇」の取得対象となる全ての男性職員がこれらの休暇のいずれか3日以上取得する（取得率100%）。	89.09% (49名/55名)	92.00% (69名/75名)	89.55% (60名/67名)
数値目標2	令和4年度までに、対象となる男性職員の「育児休業」取得率が15%以上になるようにする。	18.18% (10名/55名)	29.33% (22名/75名)	40.30% (27名/67名)
数値目標3	令和4年度までに、「超過勤務時間数」が年360時間を超える職員をなくすように努める。	187名	230名	285名
数値目標4	令和4年度までに、80%の職員が「年次休暇」10日以上取得するよう努める。	10日以上：55.73% (1,667名/2,991名)	10日以上：61.67% (1,842名/2,987名)	10日以上：64.30% (1,906名/2,964名)

※ 数値目標3：消防職員については、交代制勤務消防職員の21時から翌日6時40分までにおける超過勤務時間数及び休日における勤務時間数を除く。